

〔資料〕

昭和女子大学図書館蔵

『少女画報』目次（下）その二

豊田千明

本稿では、『学苑』第八四五号、八五七号、八六九号に続き、『少女画報』の目次を掲載する。

十一年二号 大正十一年二月一日発行

画報

表紙 矢はれたる指環 武井武雄

口絵 姉妹 加藤まささを

口絵 エスちゃん（二色版）

〔ひとみ 惟直〕

北国の少女 下田惟直

小学生の作法 麻布 麻中小学校

弥栄の舞

少女スキー隊 彦根高等女学校

月光曲

〔おくれぬやうに〕

愛読者の面影

海辺哀歌（写真小説）（一） 有田暁華撮影 下田惟直

海辺哀歌（写真小説）（二） 有田暁華撮影 下田惟直

〔お化粧の順序〕

〔少女クラブ 地蔵尊（新童謡） 蝶二〕

〔御相談相手〕

〔対話 学窓の下にて 百合合〕

読物

扉 扉の前 下田惟直 1

人魚の姉妹（童話） 北村寿夫 4～10

〔愛読者の面影説明 10〕

〔歌の神 藤齋晴久 11〕

水仙と腕輪（童話） 織田子青 18～23

〔ゆき（小唄） しもだ・これなほ 23〕

二人の舞姫（童謡） 多田不二 26～31

〔明星 T A 生 31〕

詩と歌

掌（詩） 水谷まさる 2～3

薔薇を食べる（詩物語） 水谷まさる 12～17

〔波の遠鳴り 下田惟直 17〕

少女人魚（童謡） 下田惟直 24～25

薤露行—百合子を憶ふ—（短歌） 山本あきら 41

笛（童謡） 加藤まささを 44～45

夕靄（詩） 下田惟直 54～55

すすり泣く鐘（童詩） 多田不二 68～69

- 夜の明けるまで (詩) 佐藤八郎 84～85
 露西亞の少女 (少女講話) 布施みよ子 38～40
 ミレー (画家挿話) T A 生 56～57
 私の愛する少女 諸家回答
 高峰博 細木原青起 多田不二 西田敏止 小寺菊子 前田晁 吉屋信子
 北村寿夫 市川源三 南部修太郎 井上康文 森田久 三島章道 山田邦子
 宮田脩 武井武雄 野口雨情 霜田史光 高須梅溪 葛原茲 生田春月
 中村吉蔵 上司小剣 磯江潤 高島平三郎 林信一 佐藤八郎 沼田笠峰
 法月歌客 三谷民子 大妻ゆたか 加藤まさを 70～76
 (愛慕悲曲 (小唄) 下田惟直 77)
 遺品の櫛 (少女小説) 霜田史光 32～37
 (こ) 挨拶 まさる 37
 孤島の少女 (少女小説) 板倉正 46～53
 古い日記の中から 山縣ゆき子 63～64
 (たそがれの小鳥 下田惟直 64)
 塔の陰より (散文詩) 下田惟直 65～67
 (泣いて別れる T A 生 67)
 瞳の空 (散文詩) 原田謙次 89～91
 かもめ (少女戯曲) 林信一 58～62
 甲虫と黄金の沓 (童話) 中島孤島 78～83
 花物語 向日葵 吉屋信子 86～88
 新案大懸賞募集 42～43
 少女ロマンス 114～116
 (海の三日月 (童謡) 下田惟直 117)
 編集閑話 110～111
 森のお屋敷 (童話) 綿貫六助 92～97
 (いのり 下田惟直 97)

- 寂しき魂 (長編小説) 戸川貞雄 98～102
 (笑顔の悲しみ (断片) 下田惟直 103)
 金色の真珠 (探偵小説) 吉田白浪 104～109
 読者欄
 (投書の注意および新募集 112)
 投書規定 113
 作文 118～121
 長詩 122～123
 短歌 124～125
 学校通信 126～127
 学校スケッチ 運動会 128～129
 【習字 130】
 図画 130～131
 (短歌) 薫園 綾子 洋三 武子 夢二 喜志子 132～139
 読者くらぶ 132～139
 絵さがし 140
 考へ物当選発表 141
 露台より―「海辺哀歌」(写真小説) 製作ロマンス― 惟直 142～143
 三月号よみもの (予告) 144
 奥付 144
 十一年三号 大正十一年三月一日発行
 画報
 表紙 双葉 武井武雄
 口絵 去年の球根 加藤まさを
 細工物 お雛さま 田中稲三
 春のおとづれ

〔薔薇の精〕

鯉の姉妹

女学生アルバム 大阪清水谷高等女学校 浜松高等女学校 日本女子商業学校

新潟高等女学校

少女寒中水泳

試験の前

愛読者の面影

海辺哀歌(三) (写真小説)

海辺哀歌(四) (写真小説)

〔お化粧の順序〕

〔少女クラブ 美の女神 (少女訓話) ふみを〕

〔御相談相手〕

〔里の小道 蝶二〕

読物

扉 愛の使者 下田惟直 1

春宵雑話 早川孝太郎 13

象と奈々ちゃん(童話) 大木雄三 16～21

金鞠銀鞠(歴史小説) 工葉ふたば 22～29

人魚の王女(童話) 多田不二 32～39

詩と歌

赤い蕾(詩) 藤森秀夫 2～3

花園の悲劇(詩物語) 水谷まさる 4～12

〔少女画報 愛読者 春期遠足会 12〕

千鳥(詩) 多田不二 14～15

野路(詩) 水谷まさる 30～31

魔法の杖(童謡) 加藤まさる 40～41

軽業の娘(歌物語) 山本あきら 56～58

〔ゴドモノクニ 広告 59〕

春(詩) 佐藤八郎 100～101

新しい乳母(童謡) 村井英夫 114～115

寂しき魂(長編小説) 戸川貞雄 42～46

〔午後三時 47〕

金色の真珠(探偵小説) 吉田白浪 50～55

死骸に鈴をつけたマイエルベル(音楽家逸話) 法月歌客 48～49

桃色の夢(短編小説) みゆき 81～83

詩日記 水谷まさる 60～62

大懸賞少女ロマンス当選十五篇発表 63

運命に泣く少女(一等当選) 大阪白萩 64～67

私の胸に咲く花(一等当選) 名古屋奈々子 68～69

馬丁の子(二等当選) 淀のさと露子 70～72

黒百合咲けば(二等当選) 北国葉子 73～76

〔愛読者の面影説明 76〕

気の毒な人の話(二等当選) 飯田多絵子 77～80

姉様に別れて(三等当選) 高原優美 84～87

〔露台のつばき まつみ 87〕

支那の少女(三等当選) 和歌山無花果 88～89

逝きし日の思ひ出(三等当選) 山口勝子 90～92

新らしく生く(三等当選) 栃木すゞ子 93～95

〔人間の歌 うたを 95〕

寂しき祈り(三等当選) 竹内秋子 96～98

〔小豆色の靴下 98〕

〔梢の春 99〕

さすらいの乙女(四等当選) 愛媛桜草 102～105

【運命に泣く人(四等当選) 高知星のひとみ 103～105】

〔独身生活（一口噺） 富山喜代 105〕	
緋桃咲く頃（四等当選） 栃木まゆみ 106	
	108
三年の恩（一口噺） 門司 西方信子 108〕	
謎（四等当選） 愛媛浮草 109	
	111
眠りし花（四等当選） 瀧浦久江 112	
	113
読者欄	
〔編集閑話 116	
	117〕
〔投書の注意および新募集 118〕	
投書規定 119	
作文 120	
	122
長詩 126	
	127
短歌 128	
	129
学校通信 130	
	131
日記の一節 125	
習字 134	
図画 135	
はがき文 124	
絵さがし 141	
考へ物当選発表 142	
〔露台 <small>バルコニー</small> より 下田惟直 143〕	
質問欄 123	
四月号予告 144	
〔奥付 144〕	
学校スケッチ 体操の時間 132	
	133
読者くらぶ 136	
	140

十一年五号 大正十一年五月一日発行

画報

表紙 晩春 加藤まさを	
口絵 小雨する宵 加藤まさを	
木版 つばくら 松野徳太郎	
欄干 <small>おほしき</small> にもたれて	
各高等女学校卒業式 山脇高等女学校 実践女学校 三輪田高等女学校 跡見女	
学校 大阪相愛高等女学校 京都高等女学校 千代田高等女学校 京都幼稚園	
薙刀と護身術 実践女学校	
記者と平博フィルム（一）	
記者と平博フィルム（二）	
磯風	
バザー 上野高等女学校	
愛読者の面影	
〔お化粧の順序〕	
〔少女クラブ 白い蝶々（新童謡） 蝶二	
	〔御相談相手〕
読物	
扉 五月の夜の思ひ出 下田惟直 1	
〔白い蝶々―十七の子のうたへる― 水谷まさる 2	
	3〕
雉子のお話 早川孝太郎 30	
	32
〔ペコニヤの花 下田惟直 32〕	
ある漁夫の話（童話） 北村寿雄 4	
	10
糸巻軸を利用せる理科玩具（理科の話） 女子高等師範学校講師 藤五代策	
17	
	20
残照（少女小説） 多田不二 22	
	27
まごゝろの力（少女小説） 大木雄三 42	
	48

詩歌

- 強く思ふ(詩物語) 水谷まさる 11～16
 椅子(叙情小曲) 下田惟直 21
 幸福(少女詩) 井上康文 28～29
 パラソル(少女詩) 加藤まさを 74～75
 春雨頌(短歌) 石津春魚 38～39
 愛の花(少女詩) 春一 58
 黒衣聖母(歌物語) 山本あきら 71～73
 春ひとり―別れし妹へ―(短歌) 春一 80～81
 南米バルパライソの街上に新聞を売る日本少女(少女哀話) 森光鳥 33～37
 (愛読者写真説明) 37
 次王丸と縫姫(童話) 室生犀星 路谷虹児画 131～141
 新詩講話(詩の話) 霜田史光 66～70
 珊瑚のお話 40～41
 (口笛 またを) 41
 お相談 愛読者の徽章 97
 桃色の手帖ノットから(少女智識) 佐佐木勇 53～54
 エスハート結婚譚(活動物語) 牛込三郎 76～79
 編集閑話 98～99
 晩春の午後(随筆) 堀口美保子 49～52
 (薔薇色の空 これなほ) 52
 学課が出来なくて退校した『ハンネレの昇天』の著者(ハウプトマン)(詩人伝)
 冷葉 89～92
 オペラ騒動の御大グルック(音楽家逸話) 法月歌客 64～65
 始めて女の笑顔を描いた画家(モンナ・リザの作者の話)(画家挿話) 森輝雄
 55～57
 寂しき魂(長編小説) 戸川貞雄 59～63

〔さくら貝 下田惟直 63〕

- 金色の真珠(探偵小説) 吉田白浪 82～88
 (赤い椿の咲く頃(小曲) 下田惟直 88)
 とん子珍々集(滑稽小説) 伊澤春彦 93～96
 (五月雨(古いノートより) これなほ) 96
 読者欄
 (投書の注意および新募集) 100
 投書規定 101
 作文 102～106
 (コドモノクニ 広告) 107
 長詩 108～109
 短歌 110～111
 学校通信 114～115
 日記の一節 118
 習字 112
 図画 113
 はがき文 119
 絵さがし 130
 考へ物当選発表 142
 (露ベル台コより) 下田惟直 143
 読者くらぶ 123～129
 六月号予告 144
 (奥付) 144
 学校スケッチ 運動会 116～117
 (少女ロマンス) 120～122

十一年六号 大正十一年六月一日発行

画報

表紙 牧歌 加藤まさを

口絵 ほたる 露谷虹児

口絵 水蓮 (二色版)

〔夏の木蔭〕

柳の陰

宝塚の三ツ星 住江岸子 若菜君子 高砂松子

磧かはの諸嬢 愛読者遠足会

茶摘み唄

〔月夜の野路〕

円柱にもたれて

英国皇太子殿下

ハネゲーム 麴町高等女学校

運動場の五分間 三輪田女学校

愛読者の面影

〔お化粧の順序〕

〔少女クラブ 平和博印象記 登志子投〕

〔御相談相手〕

〔黄金の馬車 蝶二〕

読物

扉 草色の小鳥 下田惟直 1

手帳の中より 多田園子 32

灯のない窓 (散文詩) 春二 4〜9

廃物利用玩具のいろいろ (科学玩具) 東京女子高等師範学校講師 藤五代策

18〜21

とん子珍々集 (滑稽小説) 伊澤春彦 22〜25

母の絵姿 (歴史小説) 工藤ふたば 33〜39

〔亜米利加の活動界より (活動物語) 牛込三郎 40〜43〕

〔新詩講話 霜田史光 44〜48〕

〔惜春哀歌 下田惟直 48〕

病馬とポブラ (少女小説) 大木雄三 50〜57

詩歌

春の朝―十六の子のうたへる― (少女詩) 水谷まさる 2〜3

美しい秘密 (詩物語) 水谷まさる 10〜17

妹の自画像 (歌物語) 石津春魚 26〜29

やなぎ (少女詩) 熊谷惣太 49

野花 (音譜) 小松清曲 水谷まさるの詩 64

悲しい占ひ (少女詩) 春二 70〜71

旅 (少女詩) 加藤まさを 90〜91

空蟬橋の畔より―赤い笑顔― (感想) 下田惟直 58〜63

寂しき魂 (長編小説) 戸川貞雄 65〜69

〔五月雨 69〕

金色の真珠 (探偵小説) 吉田白浪 72〜77

蚯蚓の歌 附 蟻アリの話 早川孝太郎 30〜31

〔愛読者写真説明 31〕

春日抄 (詩日記) 水谷まさる 78〜80

舷に立つたまゝ (少女小説) 長谷部孝 84〜89

〔拾六のお美代 またを 89〕

ある夜の明方 (お伽花詩) 杉浦敏夫 92〜99

〔モツアルト (音楽家逸話) 吉田民蔵 100〜101〕

青い目の子 (童話) 佐藤八郎 102〜107

南へ南へ (少女哀話) まつみ 108〜111

〔編集閑話 112〜113〕

〔少女ロマンス 114～115〕

蹟の追憶―楽しかった四月九日―〔少女画報遠足会〕 記者 81～83

読者欄

【投書規定 124】

作文 116～119

長詩 126～127

短歌 128～129

学校通信 120～121

日記の一節 125

習字 131

図画 130

はがき文 124

絵さがし 141

【考へ物当選発表 141】

〔皇族画報 コドモノクニ 広告 142〕

〔露台より 下田惟直 143〕

読者くらぶ 132～140

六月号予告 144

〔奥付 144〕

学校スケッチ 音楽の時間 122～123

十一年七号 大正十一年七月一日発行

画報

表紙 黄蝶 加藤まさを

口絵 トビラ（三色版） 落谷虹児

渚にて

緑の木陰

〔女学生の運動 実践女学校 跡見女学校 東洋家政女学校〕

豊橋高女のバザー

青い鳥

夏！ 夏！

テニスの姿勢

〔フレー！ フレー！ 府立第三高等女学校〕

奈良県郡山高等女学校

各高等女学校遠足 山脇高等女学校 麴町高等女学校 跡見女学校 京華高等女

学校

愛読者の面影

〔少女クラブ 梅雨期の注意〕

〔御相談相手〕

〔燃えるよに 蝶二〕

〔お化粧の順序〕

読物

扉 つばくら またを 1

平和な緑の星の使徒 松山茂 87～89

胡蝶の墓―寂しき運命の人々にささぐ―〔童話〕 北村寿雄 4～10

流れ星〔童話〕 武井武雄 18～21

幼き日の夢〔感想〕 筒井広二 26～32

少女に寄せる言葉 諸家回答

高島米峰 三宅やす子 三輪田真佐子 遠藤隆吉 帆足理一郎 畑耕一 宮田

脩 和田昇 長尾松三郎 白石正邦 野口雨情 厨川蝶子 田中宇一郎 高峰

博 大妻こたか 葛原茲 浜田広介 棚橋絢子 東京裁縫女学校校長渡辺滋

小口みち 巖谷小波 多田不二 沼田笠峰 武井武雄 22～25

とん子珍々集〔滑稽小説〕 伊澤春彦 36～39

夕暮の妹〔童話〕 相良禎二 42～51

詩歌

紅雀(少女詩) 水谷まさる 2~3

歌時計(詩物語) 水谷まさる 11~17

〔愛読者写真説明 17〕

悲しみ(少女詩) 加藤まさる 40~41

小さな女工さん(少女詩) 関またを 80~81

心で泣いてるながら(少女詩) 春二 62~63

水荘の思ひ出(歌物語) 石津春魚 58~61

笛吹き娘(歴史小説) 工藤ふたば 64~69

小さい虫の大きな力(少女講話) 龍野里男 105~107

廢物利用のいろいろの玩具(科学講話) 東京女子高等師範学校講師 藤五代策

52~54

〔踊り子の悲しみ 小松清曲 下田惟直詩 55〕

東への道その他(活動物語) 牛込三郎 76~79

学校だより 奈良県郡山高等女学校參觀記 56~57

変つた米国小学校の卒業式―日本娘の名誉―(アメリカ通信) 33~35

新詩講話(詩の研究) 霜田史光 90~94

芍薬の窓より(感想) 原田謙次 95~97

序楽を暗記したメンデルスゾーン(音楽家逸話) 法月歌客 70~71

私の少女時代(感想) 三宅やす子 72~75

寂しき魂(長編小説) 戸川貞雄 82~86

〔海 またを 86〕

金色の真珠(探偵小説) 吉田白浪 98~104

少女ロマンス 108~111

〔編集閑話 112~113〕

読者欄

投書規定 120

作文 114~119

長詩 128~129

短歌 130~131

学校通信 124~125

日記の一節 122

〔質問欄 123〕

習字 132

図画 133

はがき文 121

絵さがし 142

考へ物当選発表 143

読者くらぶ 134~140

〔投書の注意および新募集 141〕

八月号予告 144

〔奥付 144〕

学校スケッチ 裁縫の時間 126~127

十一年八号 童話童謡号 大正十一年八月一日発行

画報

表紙 海水浴 加藤まさる

口絵 祈り(三色版) 露谷虹児

〔海辺にて 西村醉香〕

〔お友達〕

蹄のひゞき

あをぞら お茶の水高等女学校

グードナイト・マーチ

さゞなみ

波の音

シヤクンタラ姫 高砂松子 秋田露子 春日花子

みどりの園 はなぞの

その一瞬

愛読者の面影

編集局の十福人 大懸賞募集

〔少女クラブ 携帯に便利な旅行用歯磨〕

〔御相談相手〕

〔曠小袖(新童謡) 蝶二〕

〔お化粧の順序〕

読物

扉 をとめごの日のため 下田惟直 1

校歌 東京府立第一高等女学校 神奈川県立高等女学校・同女子師範学校

78〜79

輝く瞳(童話) 松原至大 4〜8

王女の悲しみ(童話) 大木雄三 18〜25

盲目乞食(童話) 田中宇一郎 28〜32

蜚蜚(童話) 武井武雄 33〜35

人形になつた華子(童話) 江口千代子 38〜43

詩と歌

雲の影(少女詩) 水谷まさる 2〜3

夢と影―ある少女の心―(歌物語) 水谷まさる 9〜15

舟うた(イタリア童謡) 原田謙次 16〜17

兎(童謡) 奈加敬三 26〜27

夏の夜の憂ひ(少女詩) 杉山しぐれ 36〜37

悲しき小川(小唄) 戸川純 44〜45

よしきり(童謡) サトウハチロー (マ) 50〜51

星(少女詩) 春二 58〜59

森のたそがれ(少女詩) 福田正夫 70〜71

山荘記(歌物語) 石津春魚 94〜99

小さい尼と鐘(童話) 宵島俊吉 46〜49

涙(童話) 水谷まさる 52〜57

草色の甕(童話) 関またを 72〜77

拾つたチヨコレト(童話) 森田たま子 80〜86

一番古いものがたり(童話) サトウハチロー 87〜91

歌ひながら料理したルリイ(音楽家逸話) 法月歌客 106〜107

水晶の玉―薄命な詩人石川啄木―(詩人伝) 下田惟直 60〜69

寂しき魂(長編小説) 戸川貞雄 100〜105

少女画報大懸賞募集 92〜93

金色の真珠(探偵小説) 吉田白浪 108〜113

楽劇会参観記 九頭龍女学校 関またを 114〜115

少女ロマンス 116〜117

読者欄

【投書規定】 124

作文 118〜121

長詩 130〜131

短歌 132〜133

学校通信 122〜123

日記の一節 125

習字 129

図画 128

はがき文 124

絵さがし 142

〔編集ノート〕 143

〔愛読者写真説明〕 143

考へ物当選発表 141

読者くらぶ 134～140

九月号予告 144

〔奥付〕 144

学校スケッチ 英語の先生 126～127

十一年九号 大正十一年九月一日発行

画報

表紙 いのり 加藤まささ

口絵 カナリヤ(三色版) 落谷虹児

葛かづら

宝塚の諸嬢 巽すみ子 秋田露子 稲葉とし子 尾上咲子 瀧野久子

女学校運動会 徳島県立女子師範学校・同高等女学校

胡蝶の愁ひ

エンゼル

愛読者の面影

秋草

死の舞踊(一) (写真小説)

死の舞踊(二) (写真小説)

〔少女クラブ〕 秋風の吹かぬうちに

〔お小夜(新童謡)〕 蝶二

〔御相談相手〕

〔お化粧の順序〕

読物

扉 初秋の月夜に 下田惟直 1

校歌 堺高等女学校 私立北海道高等女学校 94～95

鶴の唄(大戦挿話) 松美佐雄 4～11

初秋の少女に(修養訓話) 西山哲二 20～22

花物語 龍胆の花 吉屋信子 23～26

病める微笑(少女哀話) 月見草 27～29

詩と歌

ゆふぐれ(詩) 水谷まさる 2～3

実をむすぶ枝(詩物語) 水谷まさる 12～17

水は流れる(イタリア童謡) 原田謙次 18～19

渡り鳥(詩) 西村酔香 42～43

河原のお守さん(童謡) サトウハチロー 88～89

少女(詩) 落谷虹児 64～65

愛の小唄(詩) 福田正夫 70～71

〔四十人で二千人を釣ったリスト(音楽家逸話)〕 法月歌客 72～73

水に関する理化玩具(理化講話) 藤五代策 32～34

不朽の花園(散文詩) 武井武雄 66～69

ある日の夢(小説) 春二 44～49

青い小鳥の死 高橋わたる 82～83

小愛国者の死 岩崎眉秋 30～31

嵐の孤児(活動物語) 牛込三郎 50～53

〔銀の籠〕 下田惟直詩 黒木耳村曲 54～55

とりかへつ子 一幕(喜劇) 伊澤春彦 90～93

オレンヂ姫(童話) 伊福部隆輝 74～80

〔蘆の葉蔭〕 閑またを 81

危ふい命(童話) ビョルンソン作 橋爪めぐみ訳 84～87

磯の夕日(少女小説) 三宅やす子 56～63

ゑんどうの花(小説) 下田惟直 35～41

金色の真珠(探偵小説) 吉田白浪 102～107

〔出世怪童 坪内士行 108〕

〔寂しき魂(長編小説) 戸川貞雄 96〕

〔愛読者写真説明 99〕

〔指輪^{リング} 杉山しづれ 100〕

〔読者欄 101〕

〔投書の注意および新募集 112〕

投書規定 113

〔少女ロマンス 114〕

作文 116

長詩 128

短歌 130

学校通信 120

日記の一節 122

習字 132

図画 133

はがき文 123

絵さがし 143

考へ物当選発表 141

読者くらぶ 134

十月号予告 144

〔奥付 144〕

学校スケッチ 休時間の運動場 124

〔質問欄 126〕

十二年一号 大正十二年一月一日発行

画報

表紙 新春 落谷虹児

口絵 私の好きな少女(三色版) 竹久夢二

口絵 私の好きな少女(三色版) 落谷虹児

口絵 四季のしをり(オフセット) 角田次郎

口絵 タンポリン(オフセット) 小石黙二

〔わらひ 有田奏撮影〕

黒髪

寶石の瞳 奈良美也子

ハウドウユウドウ 仙台市第二高等女学校 広島高等女学校 新発田高等女学校

母の会 淑徳高等女学校 麴町高等女学校

新春 落谷虹児

ゆきかへり お茶の水女子高等師範学校附属女学校 文化学院

愛読者の面影

ふるさと(一)(写真小説) 写真部作

ふるさと(二)(写真小説) 写真部作

読物

扉 象牙の函 下田惟直 1

虹児画譜 吐息の罪 落谷虹児 2

紅薔薇の夢(散文詩) 下田惟直 6

新年と少女(修養訓話) 三輪田高等女学校校長 三輪田元道 18

〔愛読者写真説明 23〕

愛らしい宝塚少女のお正月(歌劇物語) 高倉紅夢 40

街に出る日(少女物語) 松原至大 角田次郎画 82

花物語 沈丁花 吉屋信子 落谷虹児画 88

〔学校通信 95〕

私の好きな少女―口絵 解題― ゆめ、たけひさ 30

私の好きな少女 落谷虹児 31

舞台上で殺されかゝったマリブラン(音楽家逸話) 法月歌客 68

69

詩と歌

雪の宵(少女詩) 水谷まさる 角田次郎画 4～5

黄金の短剣(詩物語) 水谷まさる 12～17

雪よ小雪よ(少女詩) ゆめ、たけひさ 24～25

歌留多―ある孤児のうたへる―(少女詩) 加藤まさる 46～47

金ペンの歩み(少女詩) 落谷虹児 80～81

少女の春(歌物語) 西村酔香 小石黙 二画 26～29

恒子(当選小説) 福岡 京子 120～122

〔短編小説を選んで〕 原田謙次 122～123

京人形(長編小説) 上司小剣 落谷虹児画 98～105

〔おこつわり(読者くらぶ、はがきの欄を削つたお詫び) 記者 105〕

勝つても負けても笑つた女子運動競技の記(感想) 東洋家政女学校校長 岸辺 福雄 32～37

〔指環の欄 少女画報編集局 37〕

ヨセフ物語(旧約人物) 村山鳥逕 武井武雄画 75～79

花形になるまで アリス・テリー(活動物語) 牛込三郎 70～74

〔たより まさる 74〕

パン売りの少女(少女実話) たかし 54～57

岡山山陽高等女学校評判記 吉備団子 106～109

天の家、地の家(歴史小説) 工藤ふたば 角田次郎画 63～67

少女画報新案大懸賞募集 38～39

お兄さまの手記(長編小説) 淡路智恵子 角田次郎画 48～53

〔二月号予告 53〕

S先生のこと(少女小説) 三宅やす子 110～115

ロメオとジュリエット(沙翁物語) 田中宇一郎 58～62

影の中より(探偵奇譚) 独石楼主人 角田次郎画 116～119

〔投書規定 124〕

〔質問欄 125〕

〔少女ロマンス 126～127〕

〔作文 128～131〕

〔長詩 132～133〕

〔短歌 134～135〕

〔函画 136〕

〔習字 137〕

〔学校スケッチ 家事の先生 138～139〕

〔日記の一節 140〕

〔考へもの当選発表 141〕

〔絵さがし 142〕

〔露台より 下田惟直 143〕

〔奥付 144〕

十二年二号 大正十二年二月一日発行

画報

表紙 つばき 落谷虹児

*口絵 春まだき(三色版) 竹久夢二

*口絵 ひとつ星(オフセット) 角田次郎

*毛糸のシヨール

各高等女学校風俗 山脇高等女学校

高砂松子 奈良美也子 たつみすみ子

ファスト 長崎県立島原高等女学校 岩手県立盛岡高等女学校 鹿児島県川内高等女学校

*異国趣味

愛読者面影

ふるさと(三)(写真小説) 本社写真部作

ふるさと(四)(写真小説) 本社写真部作

読物

扉 星 下田惟直 1

虹児画譜 二ツのまほろし 落谷虹児 2〜3カ

* 3〜4頁 上部六分の五 欠

心に恃む所のある人間となれ(修養訓話) 頌栄高等女学校校長 沼田笠峰

32〜34

〔小曲三章 吉田一穂 34〕

高砂松子さんの舞台と生活(宝塚物語) 高倉紅夢 40〜45

〔花の謎 多母澤島吾 45〕

虫干しの日(少女小説) 松原至大 角田次郎画 20〜23

奈良礼讃(旅行記) 水谷まさる 72〜77

* 77〜78頁 縦半分欠

アインシュタイン博士の講演を聴く(少女講話) 和田古江 56〜59

花物語 沈丁花 吉屋信子 落谷虹児画 48〜55

詩と歌

厄年(少女詩) 西条八十 4カ〜5

運命(詩物語) 水谷まさる * 14カ〜19

* 15〜16頁 半分欠

大仏巨鐘―奈良に旅してうたへる―(少女詩) 水谷まさる 24〜25

人魚の涙(散文詩) 下田惟直 6〜12

粉雪降る夜(歌物語) 西村醉香 角田次郎画 26〜29

* 27〜28頁 欠

肩掛(少女詩) 加藤まさる (* 13カ)

* 13〜14頁 欠

母に捧ぐるの歌(短歌) 関またを 30〜31

ロメオとジュリエット(沙翁物語) 田中宇一郎 35〜39

* 38〜39頁 一部欠

ヨセフの話(旧約物語) 村山鳥遯 武井武雄画 60〜64

お兄さまの手記(長編小説) 淡路智恵子 小石黙二画 83〜87

煙(小品) 花井光子 46〜47

* 47〜48頁 縦半分欠

いのり(少女小説) 春野つゆくさ 90〜95

血と砂(活動物語) 牛込三郎 65〜69

京人形(長編小説) 上司小剣 落谷虹児画 100〜106

* 103〜104頁 欠

〔投書規定 107〕

懐郷病の話(少女講話) 月見草 70〜71

獄舎で名曲を作ったウエベル(音楽家逸話) 法月歌客 88〜89カ

* 89〜90頁 縦三分の二 欠

影の中より(探偵奇譚) 独石楼主人 角田次郎画 78〜82

〔愛読者写真説明 82〕

山脇高等女学校評判記 出鱈目茶目子 96〜99

ミチルに扮して(当選短編小説) 飯田多絵子 108〜111

〔短編小説の選後に 原田謙次 111〕

〔少女ロマンス 112〜113〕

〔作文 114〜117〕

* 117〜118頁 上方三分の一 欠

〔長詩カ 118〜119〕

〔短歌 120〜121〕

〔習字 122〕

〔図画 123〕

* 123〜124頁 一部欠

〔日記の一節 124〜125〕

〔学校通信 126〕127〕

* 127〕128頁 一部欠

〔読者クラブ 128〕140〕

〔絵さがし当選発表 141〕

〔考へもの 142〕

〔露台より 下田惟直 143〕

〔三月号予告 144〕

〔奥付 144〕

十二年三月 大正十二年三月一日発行

画報

表紙 三月 落谷虹児

口絵 ゴンデレットの夕べ (三色版) 加藤まさを

口絵 鳩ぼつぼ (二色版) 本社写真部

〔みいちやん〕

春のひかり

寒中水泳 京都府立第一高女 京都府立第二高女 同志社女学校

清水詣

反響 山梨県北巨摩郡藤井尋常小学校

愛読者の面影

各高女運動会 広島県立呉高等女学校 福岡県立田川高等女学校 愛媛県済美高

等女学校 岡山高等女学校 岩手県立盛岡高等女学校

ふるさと (五) (写真小説) 本社写真部作

ふるさと (六) (写真小説) 本社写真部作

〔子とろ子とろ 実践女学校 常磐松高等女学校〕

読物

扉 小鳥の唄 下田惟直 1

〔虹児画譜 モデル 落谷虹児 2〕3〕

愁人 遠山陽子 81

女学生時代と宗教 (修養訓話) 淑徳高等女学校校長 萩原雲来 17〕19

〔愛読者写真説明 19〕

淡雪草紙—小さな尼の手紙— (創作物語) 北村寿雄 小石黙二画 12〕16

初瀬音羽子さんの舞台と其平生 (宝塚物語) 高倉紅夢 34〕38

〔少女界近事 目白自由学園 39〕

山茶花の悲しみ (少女小説) 藤森秀夫 42〕45

一本の葉 (童話) 松原至大 28〕31

女学生的美爪術 (マニキュア) 百合化粧院 平義子 26〕27

嵐山の時雨 (旅行記) 水谷まさる 40〕41

花物語 沈丁花 吉屋信子 60〕67

淋しけれども (少女哀話) 四月夜鳥 54〕57

独逸の活動写真の話 (活動物語) 牛込三郎 76〕80

〔校歌 瀬戸の海 香川県立第一高女 80〕

詩と歌

いつはり (少女詩) 水谷まさる 4〕5

小石の塔—ある少女の手記— (散文詩) 下田惟直 6〕9

嘆きの船 (少女詩) 加藤まさを 58〕59

春愁 (短歌) 古澤たけを 68〕69

春の吐息 (少女詩) 稲並昌幸 20〕21

春宵記 (歌物語) 西村酔香 22〕25

雪どけの野辺 (少女詩) 福田正夫 32〕33

春雨 (少女詩) ゆめ・たけひさ 74〕75

ひとり (少女詩) 落谷虹児 46〕47

知られざる神へ (詩物語) 水谷まさる 48〕51

雨が降る春雨が (実景) (曲譜) 黒木耳村 10〕11

寂しい星―ある心の記録―(物語詩)	宵島俊吉	88	89
お兄さまの手記(少女小説)	淡路智恵子	82	86
〔少女新聞懸賞「私の学校の名物」当選発表		87	
ヨセフの話(旧約物語)	村山鳥逕	97	101
武井武雄画			
〔ピアノで眠りこけたブラームス(音楽家逸話)	法月歌客	102	103
影の中より(探偵奇譚)	独石楼主人	104	108
角田次郎画			
〔女学校だより 実践に大学部		108	
〔昇天した靴	井上康文	109	111
少女画報新案大懸賞募集	当選発表	52	53
京人形(長編小説)	上司小剣	90	96
落谷虹児画			
島へ行く(当選小説)	日向ふみ子	114	117
〔選後に	原田謙次	117	
〔少女ロマンス		118	119
常磐松高等女学校評判記	出鱈目茶目子	70	73
読者欄			
投書規定		112	
作文		122	125
長詩		126	127
短歌		128	129
学校通信		120	121
日記の一節		132	133
習字		130	
図画		131	
【はがき文		118	
絵さがし		142	
〔露台より	下田惟直	143	
考へ物当選発表		141	

質問欄	113
四月号予告	144
〔奥付	144
【学校スケッチ	122
読者くらぶ	134
	140
十二年七号	大正十二年七月一日発行
画報	
表紙	みどりの丘 落谷虹児
口絵	アベ・マリヤ(三色版) 加藤まさを
*口絵	さざなみ(二色版) 写真部
*おとづれ	
*勝利	
*学校だより	
〔各高女遠足会	学習院初等科
	山脇高女
	府立第六高女
住江岸子さん	
晩鐘	
愛読者の面影	
永遠の姿(三)	(写真小説)
永遠の姿(四)	(写真小説)
読物	
扉	けむり 下田惟直 1
紫睡蓮(絵物語)	艸丘夕美 4
	5
個人の幸福と社会の関係(修養訓話)	お茶の水高等女学校主事 藤井利誉
15	18
金魚のお話(少女講話)	水産講習所教授 日暮忠 24
	27
ラインの船唄(大戦挿話)	松美佐雄 武井武雄画 30
	34

湖畔の家(童話)	北野みどり	小石黙二画	98	102	
花物語	黄薔薇	吉屋信子	落谷虹児画	19	23
小さなソーサアナと黄金の靴(英文欄)	堀田美保子		38	41	
嘆きの少女(歴史小説)	工藤ふたば		42	46	
鶯が御師匠様の女流声楽家ジュンニイ・リンド(音楽家逸話)	法月歌客		96	97	
少女画報ページ増加について	編集局		47		
王女への贈物(童話)	松原至大	加藤まさを画	48	53	
宝塚少女歌劇の帝国劇場上演	一記者		35	37	
詩と歌					
風と唄(少女詩)	水谷まさる	角田次郎画	2	3	
鉛筆(少女詩)	加藤まさを		28	29	
うらなひ(少女詩)	艸丘夕美		54	55	
影のひと(詩物語)	水谷まさる	角田次郎画	8	14	
都会夜曲(歌物語)	西村酔香	小石黙二画	56	60	
お手紙(少女詩)	サトウ・ハチロー		66	67	
避暑地のがみ(短歌)	正岡いるゝ		72	73	
小笠原島のお話(旅行物語)	福士幸次郎		104	107	
〔お断り(女学校めぐり、懸賞絵判じ当選発表を次号へ見送ったお詫び)〕			107		
不思議な金属(少女科学)	築土太郎		78	79	
文鳥は啼く(一幕)(少女戯曲)	淡路智恵子	落谷虹児画	80	84	
モオセの話(旧約物語)	村山鳥逕	武井武雄画	61	65	
鉄道郵便の話	通信書記補	相守事麿	61	65	
菖蒲咲く日に	石津春魚		85		
ハムレット(沙翁物語)	田中宇一郎	武井武雄画	86	90	
涼しい夏向きの刺繍の造り方	九頭龍繡画女学校校長	九頭龍千松	68	71	
住江岸子さんの舞台と平生(宝塚物語)	高倉紅夢		74	77	

影の中より(探偵奇譚)	独石楼主人		108	113
京人形(長編小説)	上司小剣	落谷虹児画	91	95
〔愛読者の面影説明〕			95	
寿司折(当選小説)	静岡	北原ナ、	114	117
〔短編小説の選後に〕	工藤恒		117	118
読者欄				
投書規定			103	
作文	122	125		
長詩	128	129		
短歌	130	131		
学校通信	126	127		
【日記の一節】	141			
習字	119			
〔少女ロマンス〕	120	121		
【図画】	120			
【はがき文】	140			
絵さがし	142			
〔露台より〕	下田惟直		143	
【考へ物当選発表】	139			
【質問欄】	120			
八月号予告	144			
〔奥付〕	144			
学校スケッチ	運動時間		132	133
読者くらぶ			134	141

(とよだ ちあけ 初等教育学科)